

国際地域創造学部 基礎演習 演習問題 2週目 (解答)

問1 次のタイトルの本は、琉大図書館ではどの形態で利用できるでしょうか。適切なものを選んでください。紙の本と電子ブックをまとめて調べたいので、両方を検索できる「蔵書検索」を使います。本のタイトルからキーワードをそれぞれ抜き出し、検索をしてみましょう。

(1) 『大学生のためのリサーチリテラシー入門』 どちらでも利用できる

(2) 『見ても聞いてもわかるバリアフリー英文法』 電子ブック

問2 次の新聞記事が読みたい場合、琉大図書館ではどの形態で利用できるでしょうか。適切なものを選んでください。

「琉大で利用できる新聞リスト」をもとに、それぞれの形態（原紙やデータベース等）の所蔵期間を確認していきましょう。

(1) 先週の琉球新報の記事 ①原紙 ②新聞記事データベース

(2) 朝日新聞の10年前の記事 ②新聞記事データベース ③縮刷版

(3) 沖縄の本土復帰（1972年）頃の
沖縄タイムスの記事 ①原紙 ④マイクロ資料

問3 引用のルールの観点から、次の行いが正しければ○、間違っていれば×を選んでください。

(1) 出版された著名人の書簡集の一部を、自分のレポートに引用した。

○ 出版されているものを一部分のみ引用するのは正しい行為です

(2) 資料Aで引用されていた資料Bの記述を、実際に資料Bを確認せずに自分のレポートに引用した。

○ 「実際に資料Bを確認せずに」引用するのはNG行為です。「引用の引用」は避け、自分でオリジナルの資料を確認する必要があります。

(3) レポートに使いそうな文章を見つけたので、自分のレポートに丸写しして、出典を明示せずに自分の考えのように書いた。

× 「丸写し」「出典を明示せず」等は、NG行為です。「剽窃」となり、自分のレポートが評価されなくなります。絶対にやめましょう。

問4 参考文献リストに次のように資料の情報が記述されていました。この資料が琉大図書館にあるかどうか調べてみましょう。

(1) 荒木一視・林紀代美編（2019）『食と農のフィールドワーク入門』昭和堂。 ある

記述形式から、「図書」の情報であることがわかります。二重かぎカッコ『』の中が書名なので、キーワードを抜き出して、ありんくりんサーチ等で検索すると、この資料が見つかります。

(2) 安田敏朗 (2022) 「政治とことばの近現代史」 明治書院 『日本語学』41(4), pp.126-135. ない

記述形式から、「雑誌論文」の情報であることがわかります。二重かぎカッコ『』の中が雑誌名なので、蔵書検索で雑誌名で検索し資料種別を「雑誌」に絞り込み →該当するタイトルをクリックすると詳細画面が表示されます。ヒットしたからといって安心せず、所蔵巻号に41巻4号が含まれるかどうかしっかり確認しましょう。